

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第208号

ななえ古写真物語

VOL.208

田に佇む小学校

二代目鶴野小学校校舎

昭和30年ころか

鶴野地区



かつて、ピチャリ第18号において、鶴野地区の歴史とともに、鶴野尋常小学校時代の校舎の写真を紹介したが、写っていた校舎は、おそらく明治26年に古家屋を購入してから新教室と廊下を増築したものだろうと考えられる。その理由として、最近、昭和34年の段階で旧校舎とされている鶴野小学校の写真が見つかったからである。それが上の写真だ。

明治26年に開校した鶴野小学校は、幾度か校舎を改築しているが、ピチャリ18号に掲載したものと上の写真の建物は、根本的に大きさと形状が異なる。鶴野小学校の沿革史を調べてみたら、大正13年に校舎と教員住宅を新築していることがわかった（2代目校舎）。以降、昭和3年と26年に教室などを増築しているが、基本的に校舎はそのまま使われ続け、昭和30年から校舎移転計画がおこり、住民の奉仕活動により、校地埋め立て作業や、土盛りなどが行われ、昭和35年に新たな校舎が落成している（これが3代目校舎）。

その後、鶴野小学校開校100周年となる平成5年を契機に、新校舎改築の気運が高まり、現在残っている校舎（4代目）が平成8年に新築されるも、かつては100名近くも在籍していた児童数が、年々減少の一途をたどり、平成26年3月をもって、120年余り続いた学校の歴史に幕が下りた。

歴代の鶴野小学校校舎は、田んぼに佇む学び舎という感じだが、2代目校舎もそう変わらない、現在残っている鶴野小学校の校舎よりも、やや北側に建てられたようで、その場所には、開校百周年記念式典の協賛事業として、旧校舎跡地を示す史跡看板が設置されている。あまり人目にふれることはないだろうが、しっかりと残っているので、興味のある方は探してもらいたい。

さて、この2代目校舎。写真からは木造一階建てと考えられるのだが、新築以降、2度の増築を経ているためか、4棟の建物がL字に連結されている様子が伺える。入口の雰囲気や壁面を覆う板の色から、左側の2棟が増築された部分と推測されるが、この校舎が活躍した時代は、児童数がピークに達したほど多かった時期だから、増築されたのもうなずける。

残念ながら、次の3代目校舎になってからは、児童数も段々と減少してしまっただが、学校活動の様子を示す写真の数々から、地域の人たちの協力で、スケートリンクをつくり、スケート学習をしたり、地域産業である米作りを実践したり、水田に棲む生き物調査をしたりと、ほかの小学校では見られない教育が行われていたことがわかった。

当館としても、写真を残す重要性を、再確認させられた写真といえるだろう。

6日 夜の博物館後期講座第4夜

今年度最後の講座は、「今も金が掘れる町」をテーマに、今金町教育委員会学芸員宮本雅通氏にお話頂きました。町名の由来から始まり、日本海と太平洋の分水嶺であるという特徴的な地形、砂礫がたまりやすい後志利別川、鉱脈があるカニカン岳。最初から、興味深い話題が次々と飛び出します。その後も江戸前期から始まるゴールドラッシュの三大ピークから、町内の子どもたちは、必ず砂金掘りを体験する「ふるさと教育プログラム」を実践しているなど、町の取り組みも教えて頂き、他町から学ぶことが、大いにある時間でした。



22日 ジュニア探検クラブ

全12回のプログラムの締めくくりは、閉講式です。1年間の活動を、みんなで記録写真を見ながら、振り返ります。館内の見学から始まった4月から、2月の大沼での冬を楽しむプログラムまで、一人ひとりから感想を述べてもらおうと、その表情や言葉から、成長を感じます。普段は経験できない時間の過ごし方を、みんなは、どう感じてくれたのでしょうか？大人になったとき、ふと思い出す、さざ波のような1年であってくれたら良いなと思います。



企画展『広告』が開催中です。

開催中の企画展は、新聞や雑誌等の広告に、史料的価値を見出そうと企画しました。皆さんは掃除の途中に、思いがけなく見つけた古い新聞などを、手を止めて、思わず読んでしまった、という経験はありませんか？時代によって異なる商品のコピー、また持っていた物の広告と再会することで、思い出が蘇ったり、楽しい時間になることもあるでしょう。そんな軽い気持ちで、ご観覧頂き、皆さんの思い出に残る広告を是非お知らせ下さい。



1	木	企画展「広告」開催中
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	休館日
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	休館日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	休館日
20	火	ピチャリ第209号発行
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	企画展最終日
26	月	休館日
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	ジュニア探検クラブ

※休館日：7日、12日、19日、26日

ラッパ

常設展示室「春」のコーナーにあるこの道具。風の強い春に肥料を播くのに活躍した道具です。



編集後記 ~tawagoto~

草木が芽吹き、足元に、遠くの山々に、色彩が帯びてゆく。クジャクチョウも姿を現したと聞いた。チョウの飛び姿は、儚く、その揺らぎに目を追ってしまう。晩年、病床で過ごす正岡子規は、外の世界を感じるため、障子からガラス戸に変えたという。チョウが登場する句も残している。春は躍動の季節と言われることもあるが、小さな変化を見逃すと、あっという間に季節は移っていく。色、音、風、におい。せっかくだから思い切り春を感じてみたい。

Pichari ~ピチャリ~

第208号

令和7年(2025年)4月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp